

●木製建具 取扱説明書●

木製建具を安全に長期間ご使用いただくため、この取扱説明書をよくお読みください。
使用方法を誤ると、怪我、不慮の事故、破損、劣化促進、不具合発生の原因となります。

1. 取扱に際しての注意事項

- 1-1. 扉開閉時は必ずレバーハンドル、引手、取手等を手で持って、ゆっくりと扉を動作させてください。
- 1-2. 扉に急激な負荷を与えたり、激しく動作させたりしないでください。
- 1-3. 扉に過度の加重を与えないでください。
ぶら下がったり、ものをぶら下げたり、もたれたりしないでください。
- 1-4. 開戸は極力開けっ放しにしないでください。
- 1-5. 開戸を開けっ放しにする際は、必ず戸当フック・ストッパー類を使用してください。
強風下では風圧によりフック等がはずれることもございますので、注意してください。
- 1-6. 開戸を閉める際は、必ずラッチをラッチストライクに完全に納めて閉めて下さい。
- 1-7. 扉を可動範囲外に無理に動かさないでください。
- 1-8. 扉や取付部品の可動域・または周辺に物を置かないでください。
置いているものが引っかかって扉が動かなくなることがあります。
- 1-9. 扉に硬いものをぶつけないでください。
- 1-10. 扉にセロテープ等の粘着物を貼らないで下さい。
- 1-11. 扉にヘアドライヤー、照明灯、ストーブ等の高温になるものを近付けないで下さい。
- 1-12. 扉の水濡れは厳禁です。
扉本体や取付部品に濡れた手で触ったり、液体クリーナー等を直接吹き付けたり、加湿器をそばに置いたりしないで下さい。
- 1-13. 開戸にレバーストッパーを取付している場合は、取付していない扉に比べ、若干開閉動作が重たいですが故障ではありません。
また扉開閉時にはレバーストッパーが伸縮し金属が擦れる音が出ますが、故障ではありません。
レバーストッパーの伸縮部分には手を触れないでください。
- 1-14. 折戸の折れ部分には隙間がございます。
この部分に手を添えて開閉すると、指を挟むことがありますので注意してください。
- 1-15. 取付部品につきましては、別紙の取扱説明書をご参照お願い致します。

2. 日頃の心がけとお手入れについて

- 2-1. 扉の清掃の際には、水で薄めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ固く絞ってから軽く拭いて下さい。
シンナー、ベンジン、アルコール、酸性洗剤などの溶剤で拭かないで下さい。
又、コンパウンド入りのスポンジ等で拭かないで下さい。表面の塗膜及びシートを傷める事があります。
※ドアの木口部分及びガラス押え部分には、無垢材を使用している場合がございます。
その為、木目（導管）に塗料が染み込み木目（導管）が大きい場合、塗料の塊が無垢材に染み込まずに残っており、拭く事で落ちてしまう可能性があります。
（水を含ませ絞った布で2～3回拭き取る事により、2度目は色落ちがほとんどございません）
- 2-2. 室内外の温度差・湿度差等により、変形（ドアの反り等）する恐れがあります。
通気を充分して頂ける様お願いします。
- 2-3. 直射日光が当たり続けると、扉表面が変色することがございます。
直射日光や西日が避けられない間取りに位置するドアについては、カーテン等での遮光をお薦めいたします。
- 2-4. 面組材、縁材等には、より豊かな質感を堪能していただく為に、天然無垢材に塗装仕上げを施している場合がございます。
材料の選別にあたり、社内基準に基づき厳選していますが、天然木材のもつ特質の為、仕上げの不統一はご容赦願います。

3. 保証について

保証期間は、建物の竣工日から2年間です。
取扱説明書に基づく適正な使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合は、別記載の免責事項を除き、無償修理致します。
保証期間経過後の修理、交換は有償となります。

4. 免責事項

保証期間内でも次の様な場合は有償修理となります。
天災やその他不可抗力に起因する破損や不具合（強風、地震、津波、高潮、噴火、火災、浸水、豪雨、地盤沈下など）
周辺の自然環境や住環境に起因する破損や不具合（異常な高温・低温・多湿・乾燥、塩害、虫害、砂塵、排ガスなど）
適正に扉を使用しなかったことによる破損や不具合
お客様自身の修理、改造などに起因する破損や不具合
躯体の変形等に起因する不具合
犯罪など不法な行為に起因する破損や不具合